



豊田中だより

令和8年3月19日(木)

3月号

横浜市立豊田中学校

〒244-0815

横浜市戸塚区下倉田町950番地

☎ 045-864-8640

正解とは！

校長 鈴木 秀彦

まだ春の訪れが遠いのか、3月中旬から寒暖の差が激しい日々が続いています。少し肌寒い中ではありましたが、晴天の中3月11日(水)に、本校の第55回卒業証書授与式を実施いたしました。多くの保護者の皆さまや来賓の皆さまにも参加いただき、219名の卒業生は卒業証書を手は無事に卒業していきました。

3月9日(月)の予行練習では、1年生と2年生も参加し、緊張感が漂う中で3年生の堂々とした立ち振る舞いを見ていました。1年生と2年生にとっては、少し先の自分の姿をイメージできたのではないのでしょうか。また、練習の終盤では3年生がRADWIMPSの『正解』を合唱しました。とても素晴らしい合唱で、見ていた生徒の中には涙ぐむ子や終わった後に思わず拍手しそうになった子たちもいました。

この歌が持つテーマに感動した人もいたのではないのでしょうか。

『学校では“答えのある問題”ばかり習う。でも、人生はその逆で、“正解のない問題”ばかり。人生で本当に知りたいのに誰も教えてくれない“答えのない問い”に向けて、自分なりの答え(人生)を見つけてもらいたいと語りかけています。歌詞の最後には『空欄』に何を書き入れてもいい。その人の人生こそが「正解」をつくっていくと言っています。

歌の最後の歌詞を紹介します。

ああ 答えがある問いばかりを 教わってきたよ だけど明日からは 僕だけの正解を
いざ 探しにゆくんだ また逢う日まで

次の空欄に当てはまる言葉を書き入れなさい ここでの最後の問い

「君のいない 明日からの日々を 僕は／私は きっと 」

制限時間は あなたのこれからの人生 解答時間は あなたのこれからの人生
答え合わせの 時には私はもういない だから 採点基準は あなたのこれからの人生

「よーい、はじめ」

～これから豊田中学校で活躍する皆さんへ～

すべては与えられるものではなく、自分で選び、時間をかけて『自分なりの正解』に近づいていくもの。そのためにも、自分からその一歩を強く踏み出してください。令和8年度も期待しています。

第55回卒業証書授与式

【別れのことば】 卒業生代表

春の暖かな風がそっと背中を押してくれる今日。私たちはこの学び舎を旅立つ日を迎えました。3年間過ごしたこの場所ともいよいよお別れです。今、こうして立っていると、これまでの日々が1つひとつ思い出され、胸がいっぱいになります。

三年前、まだ少し大きかった制服に身を包み、期待と不安を胸に校門をくぐりました。新しい環境に戸惑いながら、「どんな3年間になるのだろう」そんな思いでいっぱいだったことを今でも覚えています。

1年生のころはすべてが初めてで、毎日が手探りの連続でした。授業についていくこと、部活動との両立、新しい人間関係。思うようにいかず、悩むこともありました。定期テストの前には「時間が足りない」「もう無理かも」と言いながら不安と戦った日もありました。テストが終わったあとに友だちと答え合わせをして一喜一憂した時間も懐かしく、あたたかい思い出です。体育祭では大縄に挑戦しました。何度も失敗を重ね、気持ちが沈みかけたこともありました。それでも、声をかけあい、励まし合いながら、最後まで諦めずに練習に取り組みました。本番、中央公園いっぱい広がる声援の中で、全力を出し切った、あの瞬間の達成感は今でも胸に深く残っています。

合唱コンクールでは、思うように声が揃わず、何度も立ち止まりながら練習をしました。ひとつの歌をクラスみんなで良いものにしようと合唱に取り組んだ時間は、私たちの心を強く結びつけました。

2年生になると、後輩ができ、私たちは「先輩」という立場になりました。戸惑いながらも「見本となる存在でありたい」「頼られる先輩でありたい」そんな思いが芽生え、自分たちの行動や言葉に、自然と責任を感じるようになりました。

このころから、自分のことだけでなく、周りのことも考えられるように視野が広くなり、私たちは確実に成長していったのだと思います。

そして、迎えた3年生。

最高学年として過ごした1年間はこれまで以上に重みと誇りを感じる日々でした。

「最後」という言葉が全ての行事や日常に意味をもたせ、1日1日を、より大切に過ごすようになりました。修学旅行では、大阪万博で近未来に触れ、各国のパビリオンに魅了され、なんばで大笑い、みんなで食べたBBQの味は格別でした。夜の定番、恋バナ。先生が来たと思って急いでベッドに潜り込みました。話していることはいつもと同じなのに、修学旅行という特別な舞台が私たちの思い出にさらに彩(いろどり)を加えました。

最終日の京都は土砂降りでしたが、みんなと共に歩いた京都の街並みが、今も心鮮やかに胸に残っています。天気さえも思い出に変えてしまうほど、その時間は私たちにとってかけがえのないものでした。

最後の合唱コンクールでは「最高学年として、最高の歌を届けたい」その思いを胸に、これまで以上に真剣に練習を重ねました。本番、ホールに響いた歌声と歌い終えた後の嵐のような拍手。

そして、最後の「はるか はるか」の全校合唱。そこには私たちの3年間の歩みが確かに詰まっていました。これらの行事と共に私たちを強く成長させてくれたものは部活動です。部活動では仲間と同じ目標に向かって走り続ける日々を過ごしました。上手くいかないことの方が多く、結果が出ずに悔しい思いをしたこともありました。それでも、声をかけ合い、励まし合い、最後まで諦めずにやり切れたのは、仲間の存在があったからです。ここで学んだ「努力を続けること」「仲間を支えあうこと」はこれから先も私たちの大きな力になると思います。

ここまで成長することができたのは、いつも温かく、ときには厳しく、私たちと向き合ってくださった先生方のおかげです。わがまま言ったこともたくさんありました。ごめんなさい。

それでも、私たち一人ひとりを信じ、導いてくださり、本当にありがとうございました。

先生方に教えていただいたことを胸に、これからは自分だけの「正解」を探すためにそれぞれの道を、自分の力で歩いていきます。

そして、どんな時も変わらず見守り、支え続けてくださった保護者の皆様。皆様の存在があったからこそ、私たちは安心して、前を向いて進むことができました。お父さん、お母さん、本当にありがとう。

そして、これからも変わらずに見守ってください。

そして、黄学年のみんな。3年間本当にありがとう。

ぐるっと綱引き、ロゴクイズ、大声大会、ドミノ倒し...ひまわりカップではたくさんのことをしましたね。

共に笑い、悩み、支え合った日々は、これから先も私たちの心の中で輝き続けるはずですよ。

ここまで一緒に並んで歩いてきたけれど、明日からは今隣にいる仲間はいません。

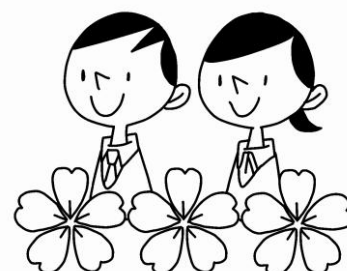
君のない明日からの日々を、自分のこれからの人生を、私たちは、自分の足で歩いていかなければなりません。

私たちは今日、この豊田中学校から新たな一歩を踏み出します。

不安もありますが、それ以上に希望があります。

ここで出会った全ての人への感謝の想いを胸に、それぞれの未来へ、進んでいきます。

今まで本当にありがとうございました。



【送ることば】 在校生代表

冬の寒さも和らぎ、春の訪れを感じる季節となりました。本日、豊田中学校を卒業される先輩方ご卒業おめでとうございます。在校生を代表して、心よりお祝い申し上げます。

先輩方は、入学してから今日まで、どのような日々を過ごされてきたでしょうか。

振り返れば、初めての行事に心躍らせた日、仲間と励まし合いながら乗り越えた困難、思わず笑ってしまうような出来事、悔しさに涙した瞬間など、数えきれない思い出が浮かんでくることと思います。その一つ一つは先輩方が積み重ねた、かけがえのない経験であり、これからどのような道に進まれても、必ず心の支えとなり、一生の宝物として輝き続けることと思います。

私たちは、これまで、先輩方の姿を見て、憧れ、学び、少しでも近づこうと努力してきました。体育祭では、どの種目でも一位を目指して昼休みにも練習を重ねていました。仲間に声をかけ合い全力で挑む姿がとても印象的でした。勝っても負けてもお互いを讃え合い、悔しさを次の力に変えていく姿勢も、私たちの胸に深く刻まれています。先輩方の姿勢、背中から、努力することの尊さや仲間を思う気持ちの大切さを学ぶことができました。

合唱コンクールでは、練習のときから、私たちの歌を真剣に聴いて、温かいアドバイスをいただきました。心から感謝しています。本番では、クラス一丸となり、最優秀賞を目指して全力で歌う姿に、「本気」というものがどういうものなのかを教わりました。その姿を見て私たちも来年、あんなふうになんか一つに歌いたいと強く思いました。

ほかにも、委員会活動、日常生活の中でも、先輩方から多くのことを学びました。来年は私たちが、後輩を支え、よりよい学校をつくっていくことができるか、不安もありますが、困ったときは先輩の姿を思い出して、粘り強く頑張っていきたいと思っています。

先輩方は、これから、それぞれの想いを胸に、新しい道に進んでいくことと思います。その道のりには、きっと新しい出会いや、喜びがある一方で、思い通りにいかないことや、立ち止まってしまいそうになる瞬間もあるかもしれません。そんなときは、豊田中学校で過ごした日々を思い出してください。先輩方は、仲間と励まし合い、努力を積み重ねることができる、優しさと強さを持っています。豊田中学校での思い出は、必ず先輩方の力となり、そっと背中を押してくれると思います。

最後に、皆様の、これから歩まれる道が、実り多く、明るい未来へと続いていくことを心よりお祈りし、お祝いの言葉とさせていただきます。

生徒活動の記録

3月22日(日)には合唱部が音楽室においてスプリングコンサートを行います。また、24日(火)には吹奏楽部が鎌倉芸術館(小ホール)においてコンサートを行います。

